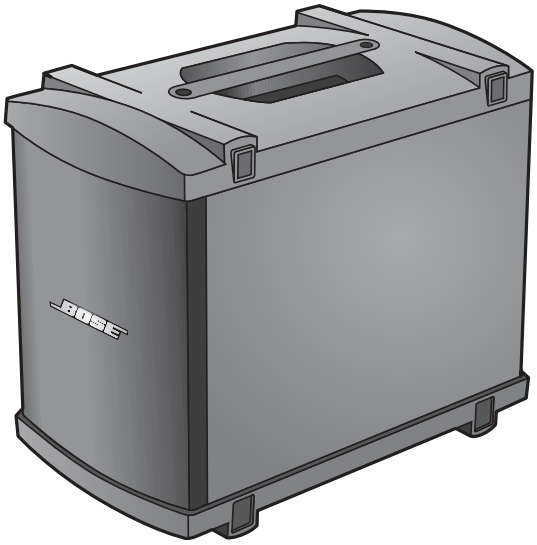
B1 Bass Module

取扱説明書



※説明の便宜上、イラストは実物と異なる場合があります。

安全上の留意項目

ご使用前に、この「安全上の留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について

⚠ **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠ **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。(左図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。

⚠ 警告	電源プラグをコンセントから抜け	●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐにアンプなどの機器の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。 ●万一、内部に水などが入った場合は、まずアンプなどの機器の電源スイッチを切り、スピーカーコードを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ●万一、内部に異物などが入った場合は、まずアンプなどの機器の電源スイッチを切り、スピーカーコードを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	水場での使用禁止	●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
		●この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
		●スピーカーコードの上に重いものをのせたり、コードが製品の下敷きにならないようにしてください。また、壁や棚などの間にはさみ込んだりしないでください。スピーカーコードを傷つけて火災の原因となります。
		●スピーカー内部に金属片や異物などを落とさないでください。ショートや発熱などを起こし、火災の原因となります。
		●スピーカーコードを熱器具や白熱灯の近く、直射日光のあたるところには近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災の原因となります。
		●スピーカーコードを人が通るところなど引っ掛かりやすい場所に這わせないでください。つまずいて転倒したり、スピーカーが転倒し、けがや事故の原因となります。
		●<本製品>を分解したり改造しないでください。破損や火災の原因となります。
		●熱器具や白熱灯の近く、直射日光のあたるところには設置しないでください。そのような場所で使用しますと、火災の原因となります。

⚠ 注意		●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。 ●スピーカーケーブルを熱器具に近づけないでください。ケーブルの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。 ●窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災・感電の原因となることがあります。 ●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
		●電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
		●移動させる場合は、機器間の接続ケーブルなど外部の接続ケーブルを外してから行ってください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
		●ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所は避けて置いてください。また、設置場所の強度は重みに耐えられるものにしてください。落下して、けがや事故の原因となります。
		●スピーカーを高いところに設置される場合には、作業が不安定になりますので作業には十分ご注意ください。けがや事故の原因となります。
		●定格を超える入力を入れた状態や長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
		●高いところに設置される場合には、不意な衝撃に対して落下しないよう固定してください。固定しないまま使用しますと、落下し、けがや事故の原因となります。
		●取付金具をご使用になる場合は、ご使用になるスピーカーに対応しているボーズ社製の金具をご使用ください。 他メーカーの金具や、対応外の金具を使用するとスピーカーの破損や落下のおそれがあります。
		●ポートの中に手や体の一部を入れないでください。けがの原因となります。
		●シンナー、ベンジン、アルコール類などの揮発性の薬品やその他化学物質、クレンザーなどで製品をふかないでください。破損、変質、変色、塗料のはがれや表面に傷を付ける原因となります。またスプレー式の殺虫剤や消臭剤、芳香剤などもかからないようにご注意ください。

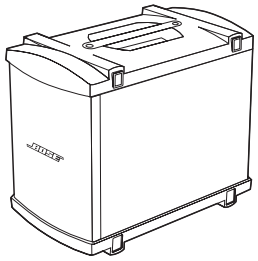
はじめに

L1™ model I System 用 B1 bass module をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。 PS1 パワースタンドのベースモジュールアウトプットには 2 台までの B1 bass module を接続することができます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、必要なときにご覧になれるよう保管しておいてください。

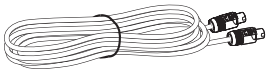
箱や梱包材は、後日修理やメンテナンス等が必要になった場合のために保管しておくことをおすすめします。 もし、開梱時に損傷などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店か取扱店までご連絡ください。そのままでのご使用はおやめください。
B1 bass module の詳しい使い方は L1 model I System 付属の取扱説明書をご覧ください。

図 1

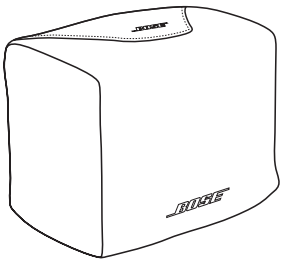
内容物



B1 ベースモジュール



B1 ベースモジュール用
スピーカーケーブル
[4 芯ケーブル (青)]
×1 本（1.5m）



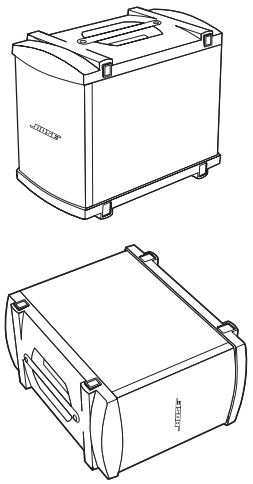
専用キャリーカバー

B1 Bass Module の設置方法

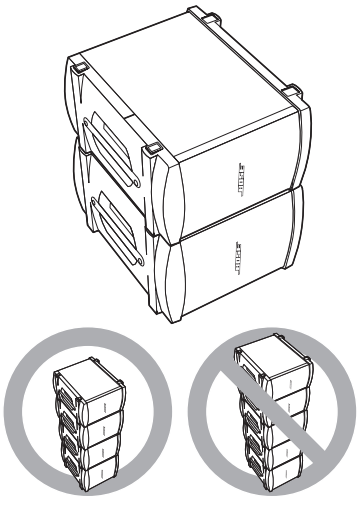
図 2

設置内容

基本的な設置



積み重ねて設置する場合



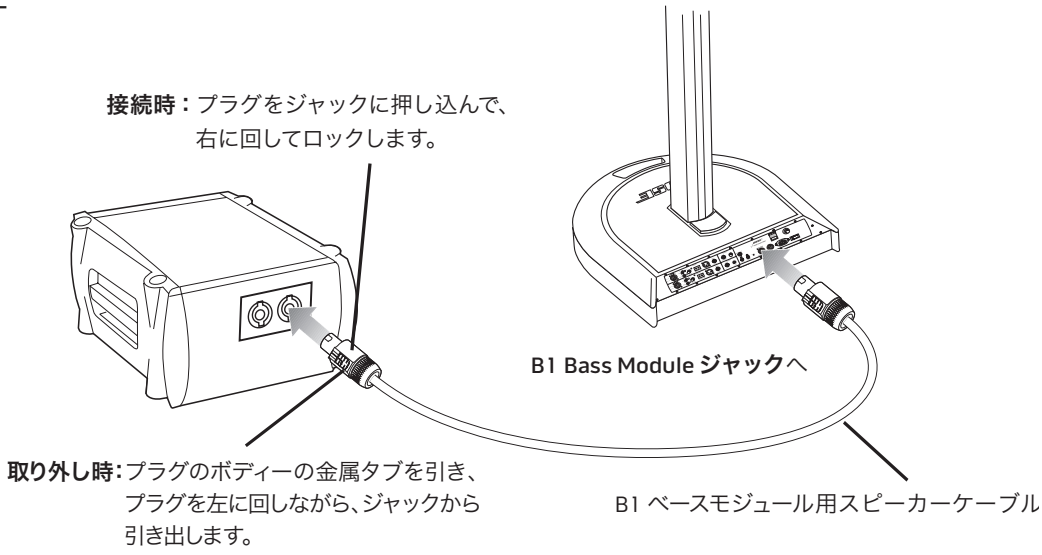
B1 bass module は縦、または横にして PS1 パワースタンドの近くの床の上に設置します。横にして設置する場合は最大 4 段まで積み上げることができます。

B1 Bass Module の結線

B1 ベースモジュール用スピーカーケーブルの一方の端を、B1 ベースモジュール背面ジャックのいずれかに挿入します。PS1 パワースタンドの B1 Bass Module ジャックに、B1 用スピーカーケーブルのもう 1 つの端を挿入します。

図 3

B1 ベースモジュールの結線



♪メモ	B1 ベースモジュールにコネクターが正しく入ると、カチッと音がします。

⚠注意	B1 ベースモジュールは、2 台の PS1 パワースタンドで共有はできません。

B1 Bass Module を追加する場合

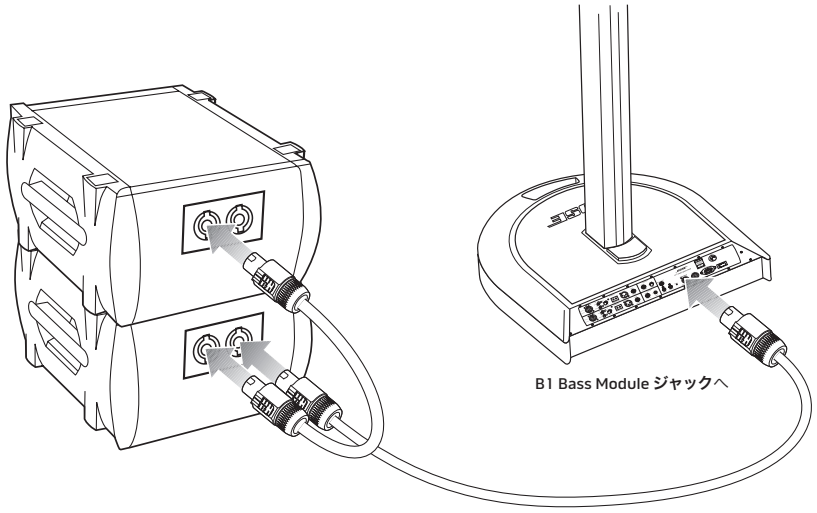
「B1 Bass Module の結線」での説明のように、PS1 パワースタンドに、1 台目の B1 ベースモジュールを接続します。
2 台目の B1 ベースモジュール用スピーカーケーブルの一方の端を、1 台目の B1 ベースモジュール背面の使っていないジャックに挿入します。2 台目の B1 ベースモジュール背面ジャックのいずれかに、スピーカーケーブルのもう一方の端を挿入します。

⚠注意	注意：PS1 パワースタンドの B1 Bass Module ジャックに、3 台以上の B1 ベースモジュールを接続しないでください。B1 ベースモジュール出力から 3 台以上の B1 ベースモジュールを作動した場合、PS1 パワースタンドのアンプが正しく働かず、アンプの故障の原因となりす。

♪メモ	PS1 パワースタンドに B1 ベースモジュールを接続する場合、付属の（青い）B1 ベースモジュール用スピーカーケーブル（4 芯ケーブル）のみ使用してください。PS1 パワースタンドは、4 芯のうち 2 芯の信号を使って、接続されている B1 ベースモジュールの数を自動的に検知します。他の 2 芯スピーカーケーブルで代用しないでください。

図 4

B1 ベースモジュールを
2 台結線する場合



仕　様

ユニット構成：13cm ウーファー ×2
インピーダンス：8 Ω
許 容 入 力：125W　rms（IEC 268-5）
入 力 端 子：NL4（スピコン）×2
外 形 寸 法：273（W）×461（D）×369（H）mm
質　　量：11.4kg
付　　属　　品：専用スピーカーケーブル ×1 本（1.5m）、専用キャリーカバー

保　証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

お問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせ先

ボーズ株式会社　サービスセンター
お客様専用ナビダイヤル 0570−080−023
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-1124へおかけください。
〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル

製品等のお問い合わせ先

ボーズ株式会社　ユーザーサポートセンター
お客様専用ナビダイヤル 0570−080−021
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-0955へおかけください。

ボーズ株式会社 http://www.bose.co.jp/
〒150-0036　東京都渋谷区南平台町16-17 渋谷ガーデンタワー 5階

BOSE
Better sound through research

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご了承願います。

OM-1397-F
12・11 (B)